

南高 同窓会会報

発行所
四日市市大字日永字岡山
三重県立四日市南高等学校
同窓会
TEL.059-345-3177
www.4nan.jp/dousou/



ご挨拶
会長 粕谷 邦男

同窓会会員の皆様におかれましては、ご健勝で益々のご活躍を心よりお慶び申し上げますとともに、日頃同窓会へのご理解、ご支援をありがとうございます。

我が四日市南高校を卒業された同輩は、二万人を越えようとしていますが、国内外で活躍されていること、非常に心強く頼もしく誇りに思います。

創立五十余年、様々なドラマが展開されたことでしょう。二万人の壮大な人生のドラマがあり、ご自身が皆、吉永小百合であり、ピアンリーであり、ジョージチャキリスで主役なのです。創立時の一期生は七十路になりますが、まだまだお元気で、現役でご活躍の方もお見えになることと思います。「生きる」ということは自分史でもあり、何よりの宝物であります。

私事で恐縮ですが、近年にわかに多忙になってきました。西に東

に出かけ、春・秋の勝負。大学のOB展、地域のカルチャースクールとその展覧会、そして個展の開催。一年間の密度が濃くなってきました。南高校で学んだ「何のために絵を描くのか」。それを知るために絵を描く。『継続は力なり』というけれども、まだ答えはできません。それとも答えなどないのか。

昔、田中一村という日本画家がいました。同期のスター達を横目に、「今に見返してやる」と奄美大島ですばらしい作品を残したのを最後に死んでいます。九州の一記者が彼を取り上げ、NHKで特集したため日本中で騒がれるようになりました。「動ける」ことに幸福感を感じ、一つの事を追求し秀でること、それも人生かもしれません。



ご挨拶
学校長 田中 真司

同窓会員の皆様には、母校のために平素より多大のご支援、ご協

力を賜り厚くお礼申し上げます。本校は昭和34年に創立、本年度で55年目を迎え、19、746名の卒業生の方を輩出しております。この「登城ヶ丘」は昔も今も青春の息吹が満ち溢れ、在校生は今日も階段や坂道を上り、元気に明るく登校してきます。時代や社会は変われど、南高生は常に目標に対する「強い心」と人の役に立つ「広い心」を持つべく、校章が示す「誠実・素直・勤勉」を旨に、日々の努力を重ねています。最後まで諦めない「強い心」と、多くのことに感謝し人の役に立とうとする「広い心」は、多くの先輩方が汗と涙を流されたまさにこの「登城ヶ丘」で綿々と育まれています。

毎年、卒業式前日に同窓会入会式が開かれます。卒業生達のあの生き生きした姿、初々しい姿に期待感と安堵感を感じます。我々もかつてそうであったように、半世紀を過ぎても南高生達の発想力と行動力は健在で、地域の方からの

さて、本年度の本校の目指す学

校像は、「豊かな人間性を育てることを基本に据え、生徒の可能性を引き出し、学力の伸長と進路希望の実現を図る」といたしました。変化の激しい時代の中でも自己を見失わず、豊かな人間性をベースとして進路実現を図り社会に貢献できる人材育成を目指しています。生徒たちは勉学に部活動に非常に熱心に取り組み、課外授業、自主学习、部活動の躍動などで、南高は早朝から放課後まで活気に満ち溢れています。授業に真剣に取り組み一方で、学校行事も非常に盛り上がり、去る6月6日に行われた体育祭では、保護者や卒業生の参観も350名以上あり、絶大な拍手を戴いたところです。さらに本年度は、全国高校総合文化祭に、

期待を担っています。毎年、八月第二土曜日に同窓会総会を開催しています。現在、「近鉄内部・八王子線廃止問題」をはじめ、様々な課題を抱えているのも事実です。皆様のお力添えなくして同窓会は成り立ちません。四

吹奏楽部、箏曲部、文芸部、全国高校総体に柔道部が出場するなど、伝統の力を享受しつつ、日々の生徒達の落ち着いたそれでいて一生懸命な生活態度は、本校の誇りとするものです。

校歌二番「この国はわれらがひらく、ふるさとの誇りを胸に」に表された、「誇りを胸に」スピリッツトの育成を旗印に、日本の将来を担える人材を輩出すべく、教職員一同、学校経営に一丸となって取り組んでまいりたいと考えております。どうか変わらぬご支援、ご理解のほどをお願いいたします。最後にになりましたが、卒業生の皆様方のご清栄と同窓会のご発展を心より祈念いたしました。ご挨拶とさせていただきます。

追記 昨年度、近鉄内部・八王子線存続要望に関して、同窓会の役員様をはじめ皆様方の絶大なご支援を戴きありがとうございました。引き続き、ご支援・ご協力いただけますようどうかよろしくお願いたします。

日市市に、また四日市南高校に愛着を持たれましたら、ぜひ今回の同窓会総会(八月一日)にご出席いただき、意見交換をしていただくとともに、旧交を温めていただければ幸いです。

OB講演会

平成25年7月12日

2年生を対象に様々な職業の同窓生による講演会が行われました。

に学ぶ貴重な機会になりました。

㈱日本旅行

四日市営業所営業課長

曾根尚次(26期)

また、職業選択においては、「何をしたいのか」ということが大事であるとお話いただきました。

(納得)してもらえたか検証する。ご自身の仕事に対する情熱を感じさせる講演でした。

か、という心強いアドバイスを在校生に向けていただきました。

四日市商業高校校長 ガイダンスカウンセラー 水谷久康(12期)

ご講演を通して、生徒にとって身近な話題や、水谷さんの軽快なユーモアを随所に含んだ話し方に、生徒は興味津々に聴いていました。「こころ」というものは実体がなく、当然目に見えるものではありません。「こころ」とは、受けた情報に対して何らかの反応をとることでのみ、その性質を明らかにするものです。現在、心理学の分野において様々な研究がなされています。生徒が特に身を乗り出して聴いていたのは、「脳は心をだます」というものです。具体例を交えて、心と体のかかわりを分かりやすく教えていただきました。

企画編集者 芸能史研究者 前田憲司(16期生)

「就職」とは「組織」に組み込まれること。組織の一員からフリーとなり、現業・営業・管理を自分でいながら、多方面に渡る仕事をされてきたそうです。中でも、これから発刊される「吉本興業」の雑誌や県の刊行物の編集は興味深いものでした。「表現」のプロセスの一端が窺えました。

あなたはどうな旅行がしたい? <ホテル派?温泉旅館派?> <観光派?リゾート派?>
こんな問いかけから始まった講演会に、沖縄修学旅行を控えた生徒たちは大盛り上がりでした。南高時代は受け身であり目立たない生徒だったこと、大学では打って変わって、楽しく過ごしたこと。すべて自己責任で、よく考えて行動しなければならぬこと。何かひとつ打ち込めるものを見つけよう、と語りかけられました。

管理栄養士の職種を、特にご自身が働いている医療分野での役割や私達が毎日関わる「食」を通して詳しくご紹介して頂く等、興味深い内容を話してくださいました。管理栄養士の仕事は、近年「食育」という面からの注目度も高い職種であると同時に、苦労した分だけ数値で結果が出たり、患者さんから感謝の言葉を言われることも多々あり、大変やりがいのある、充実した日々を送ってみえるということでした。

三重県総合医療センター診療部 管理栄養室室長、管理栄養士 秦 いづみ(30期)

中部大学生命健康科学部理学療法学科講師、理学療法士 矢澤浩成(31期)

後半は、進路に絡めた学問としての心理学の位置づけについてご講演頂きました。心理学にかかわる進路を目指す生徒も少なからずいます。希望の進路として具体的な

最後に、仕事をすることで「人と人の繋がり」の大切さを語られ、「一人で仕事をしていても一人ではない。」という言葉が印象的でした。

最後に、旅行業の仕事で大切にしていることを話されました。
①相手の気持ち、希望をよく聞く。
②工夫して提案する。
③満足

特に目標もなく、地元という理由で三重大学へ進学をされた矢澤さんでした。しかし、大学在学中に「自分が本当にやりたいことは何なのか」ということに思い当たり大学を中退、その後、東名古屋病院附属リハビリテーション学院で理学療法士を目指すことを決意されました。理学療法士への道はとても厳しいものだったそうですが、現在では「最高の仕事」と言い切れるだけのやりがいを感じておられるそうです。そんな理学療法士の楽しさを実技を取り入れながら生徒に伝えて下さり、生徒たちも興味深く聞いていました。「偏差値だけで決めるのではなく、自分に必要な大学を選んでほしい」「自分の周囲の狭い世界で物事を捉えるのではなく、世の中の動きに目を向けてほしい」というメッセージが印象に残る講演会でした。



海に囲まれている日本は、国内で消費するモノの多くを海外からの輸入に頼っています。水産研究所では、国内で自給自足ができるように、海を守り、利用する方法を考えています。

例えば、海藻の成分分析や薬効の調査などを大学や企業と連携して行っているとのことでした。さらに、海の資源を広く利用してもらうために、料理レシピの開発や紹介なども行っているそうです。海は宇宙と同じくらい謎に包まれている、無限の可能性を秘めているのです。

また、ご自身の経験を踏まえて、大学生生活や就職活動についてもお話ししていただきました。幼いころから生物が好きで、北海道大学の教授の本に感銘を受けて、進路を決めたそうです。どんな進路に進んだとしても、自分のやりたいことを見つけ、行動を起こし、色々なヒトやモノに触れてほしいと伝えてくださいました。



Education Practice 教育実習

今年も教育実習が行われました。第49期生の方々に感想をお聞きしました。

宮崎悠乃(家庭) 第49期生

教育実習が始まる前は長い2週間になると思っていました。終わってみると、あつという間違った感じがします。家庭科はちょうど被服実習の時期であり、私も見学しているだけでなく、授業に参加して教室をまわり生徒に教えるという経験が出来ました。作業手順を分かりやすく説明するのは想像以上に難しく、苦戦していました。何度も授業に参加しているうちに、自信を持って教えられるようになったかと思えます。授業実習も何度か行い、教科書の内容をわかりやすく話し伝えることの難しさを感じました。全てが初めての経験でしたが、その分吸収できることばかりで、とても充実した2週間になりました。

大野 恵(化学) 第49期生

教育実習を通して、教師という職業への見方を変えることができました。多くの先生の授業の観察や自分の授業へのご指導をもらう中で、どうしても生徒が興味をもつか、わからない生徒はいないか

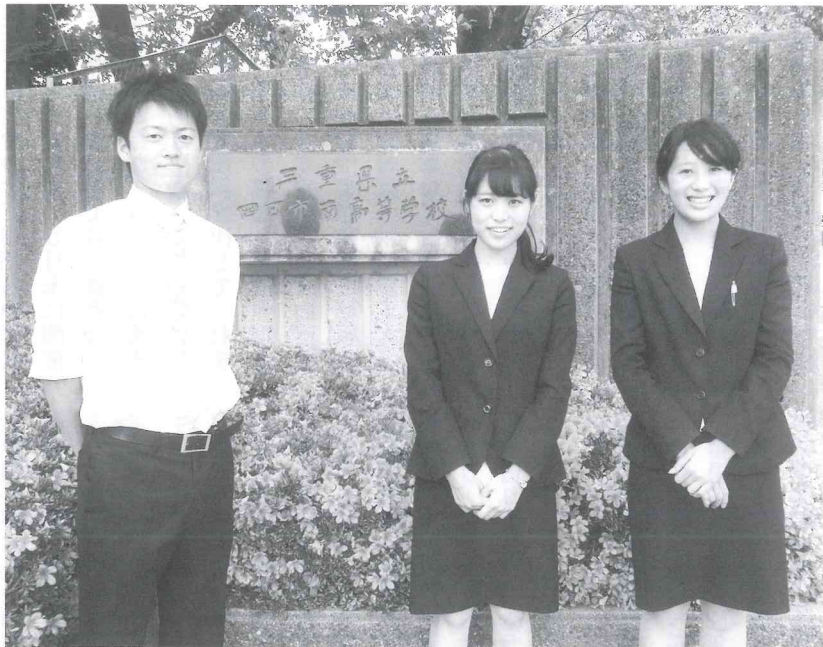
など細かな配慮や工夫を教えてくださいました。その中で私は、先生方が生徒と真剣に向き合う姿を強く感じました。これは、自分が生徒としてすごしていた時には気づくことができませんでした。生徒としては当たり前になってしまっていたことが今回自分で授業をしたりすることで先生方の授業に隠れる思いや努力を深く感じるようになりました。おそらく今回気づくことができたのは、ほんの一部であると思いますが、少しでも知ることができ、教師へのやりがいや自分への課題を見つけることができました。

服田一輝(保健体育) 第49期生

3週間ではありますが教育実習生として四日市南高校へ戻って来ることができ、良い経験となりました。久しぶりに帰ってきた南高は4年前と変わらず、生徒同士仲が良く、元気で明るい素晴らしい高校でした。私は保健体育を担当させていただき、多くの生徒と関わることができました。最初のころは緊張もあり、あまり話すことはできませんでしたが、徐々に慣

れ、担当外のクラスの授業に混じって一緒に体を動かすことで生徒たちと仲良くなることができました。また体育祭では熱くなる生徒たちの裏で、走りたいという衝動に駆られながらも体育祭の運営に携わることができ、貴重な経験をすることができました。そして野

球部の指導もさせていただき、夏の大会へ向け少しは力になったのではと思います。(頑張れ後輩たち！目指せ甲子園!!)
今後、四日市南高校へ戻って来ることができるよう努力します。で、応援よろしく願います。



平成25年度前期教育実習生 (右から)
大野 恵(化学)
宮崎悠乃(家庭)
服田一輝(保健体育)

これから教育実習を希望される予定の皆さんへ

教育実習の申し込み期間は、実習年度の前年の4月10日から5月15日です。その間の平日に、事前に総務部と連絡を取り、本人が直接来校して手続きをしてください。

躍進する部活動

おめでとう

全国大会出場!!

柔道部

少人数ながら「日々努力」を重ね、少しづつ成果が出てきました。男子個人戦では、5月の全国高校総体三重県予選で優勝を果たし、8月に福岡市で行われるインターハイへ出場することになりました。また、女子個人戦では準優勝し、東海総体へ出場することができました。個人の努力はもちろんですが、チームとして毎日部活動に取り組み中で、部員たちは成長してきました。今後とも諸先輩方の声援を宜しくお願いいたします。



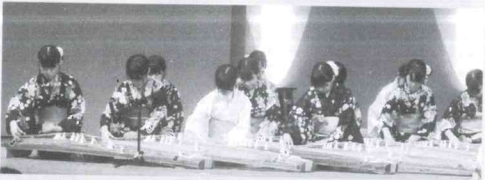
箏曲部

3年生7名、2年生15名、1年生3名の計25名という大所帯で活動しています。生田流正派大師範の森雅笙先生の指導の元、

週3回練習日を設けて、熱心に練習に取り組んでいます。

昨年夏、夏の演奏会に優勝し、11月には和歌山県で開催された近畿高等学校総合文化祭日本音楽部門にも出場しました。また、老人ホームへ出向いて、琴の演奏を披露いたしました。

今年夏、発表の機会が昨年以上に多くなりそうです。まず、8月1日には、長崎県佐世保市で開催される第37回全国高等学校総合文化祭長崎大会に出場します。そして、8月9日に松阪市民文化会館で、三重県高等学校日本音楽演奏会が行われます。その大会でも昨年並みの成績を修めたいと部員たちは張り切っています。



さて、11月に三重県で開催される近畿高等学校総合文化祭への出場を目指しています。お時間をごさいますら、是非足をお運び下さい。

音楽部

現在音楽部は2年生2名、1年生2名、合計4名で、混声3部の合唱を中心に声と心のハーモニーを奏でていきます。6月の合唱祭、9月の文化祭、10月の近畿総合文化祭三重県大会、来年2月のアンサンブルコンテストに出場予定です。6月の合唱祭でOBのみなさんにお会いできることを楽しみにしております。

美術部

私たち美術部は、今年度は新入生6人と2年生1人、3年生1人を新たに迎え、1年生6名、2年生6名、3年生5名の合計17名で毎日制作活動に励んでいます。毎年恒例の夏休み合宿は、昨年同様「絵かきの町・大王」にて、い

なべ総合学園高校、川越高校との2泊3日の合同合宿とし、他校との交流で互いに刺激しあい、南高祭に向けて意欲的に制作していく計画に、部員一同今から着々と準備をしているところです。

今年の南高祭は四日市文化会館の展示棟にて展示会を行います。今年度は昨年度同様スペースが広いため、1学期の早い段階より各自大作に挑みながら制作しております。その後は11月の近畿高文祭や来年3月の北勢展への出品など、

今後控えている展示会にむけ、各自制作に頑張っている毎日です。

陸上競技部

今年も多くの新入生が入部し、現在は男女合わせて約45名の部員で活動しています。5月末に開催された県高校総体では入賞者はいりませんが、3年生が最後まであきらめずに粘り強く競技し、リレー等で好記録を出してくれました。3年生のほとんどは引退しましたが、1・2年生がそれぞれの目標に向かって意欲的に活動しています。今後は、秋の新人大会や駅伝大会において一人でも多くの部員が自己記録を更新し、東海大会出場を果たせるよう精進していきたいと思えます。

イラスト部

イラスト部の活動は「月水金」です。部室に集まって和気藹々とイラストを描いております。その成果を年2回、9月と1月に部誌として出しています。その他、2月の終わりに、3年生の卒業記念に手作りのイラスト集を作ります。3月には新入生歓迎用の「カラーイラスト集」を手作りしています。一度見に来てください。

インターアクト部

本年度は、「人のため、世のため」

めになる社会貢献活動」をテーマに校内外のボランティアに参加したり、新モンゴル高校との国際交流を行っています。部活動を通して、社会性や国際感覚を磨き、自己実現と共に社会のお役に立てればと日々取り組んでいます。

バドミントン部

南高体育館のコートは4面しかなく、それを男女2面ずつで練習しています。そこでやむなく近隣にある体育館も借りて練習しています。ましてや必ず南高体育館が毎日使えるわけでもなく水・金・土・日曜（月曜隔週）と限られており、使えない日は、近隣体育館を借りたり、外へランニングに行くなど工夫して練習しています。

ワンダーフォーゲル部

3年男子3名、2年男子5名、1年男子4名の計12名が在籍しています。昨年度は夏合宿で南アルプス甲斐駒ヶ岳と仙丈ヶ岳、冬季大会では木曾の御嶽に、登りました。他にも夏の沢登りや冬のスキーなど、「楽しく安全に」を心がけて活動しています。

演劇部

卒業生のみなさま、お変わりありませんか。昨夏は『My Dream Forever』（既成）を

上演しましたが惜しくも県大会に進出できませんでした。春大は『Queen』（井下真美子創作）を上演し、銀賞でした。応援、ご指導ありがとうございました。一年生は9人（男子2人、女子7人）入り、元気に活動しています。

家庭部

家庭部は、今年度は42名の大所帯でスタートしました。月1回の活動日に集まり、調理室でお菓子作りや料理をしています。9月の南高祭では、昨年同様、作ったものを販売する予定です。ぜひご賞味下さい。

軽音楽同好会

軽音楽同好会は、現在3年生10名で活動しています。老人保健施設を訪問したり、特別支援学校での音楽交流会に参加しています。また、本年度はチャリティーライブや自分たちのオリジナル曲「南高物語」の演奏を予定しています。音楽を通して一人でも多くの人が元気で笑顔になればと日々活動しています。

硬式テニス部

今年度の高校総体・団体戦では、男子は2回戦で、第一シードの四日市工業高校と対戦しましたが、敗退してしまいました。女子

は、準々決勝で津田学園に負けてしまい、順位決定戦にて、第8位になりました。新一年生が多数入部し、気持ちも新たに元気よく毎日練習しております。今後ともご支援よろしくお願いたします。

吹奏楽部

3月末の第25回定期演奏会には、約1500人のお客様においでいただきました。多くの先輩方のご協力により無事演奏会を終了することができました。本年度も、部員一同、コンクールやコンテストで昨年同様、ベストを尽くし、豊かな音楽を奏でたいと思います。

水泳部

本校のプールは使用できないため、部員は各自スイミングスクール等で県大会に向けて、練習をしています。今年度は新たに1名の新入部員を加え、3名の部員になりました。3名全員が東海大会に出場できるよう頑張っておりますので、ご支援よろしくお願いたします。

卓球部

3年生4名は引退し、今は1年生（男子7名、女子2名）で活動しています。総体の団体戦は男子は、いなべに2対3で惜しくも敗れ、女子は桑名北高に庄勝後、次

にシードの高田高にあたり、頑張ったものの敗れました。毎日、黙々と練習を重ね、技を磨き、いい結果が残せるよう皆で頑張りたいと思います。

茶道部

1年10名、2年5名、3年8名11名、計27名の部員となりました。外部講師の羽木千松先生に指導していただき、表千家流のお点前を、1、2年生を中心に、毎週水曜日、作法室で稽古をしています。忙しい日々を過ごす学校生活の中で、和室で「作法」を学び、心静かなひと時を楽しんでいます。また、6月の体育祭には、クラブ

バスケットボール部

平日の放課後は体育館練習と陸上トレーニングを行っています。土日祝日は積極的に練習試合に行き、日々チーム力の向上に努めています。練習は質の高い内容を目指して、短期集中型でメリハリを大切に作り組んでいます。仲間とバスケットができる環境に感謝

電算無線部

今年も無線部門は現在休止状態ですが、生徒はコンピュータ室でワープロ・表計算・インターネットなどを学び知識や技術を習得しています。2年生からの入部者もあり1年生とともに3年生を中心に活動に取り組んでいます。パソコンの他、スマートフォンやタブレット、携帯端末を活用したクラウド活用などにもチャレンジしていきたいです。

文芸部

今年度は1年生の部員が入り、また活発に活動できそうです。4月にはみんなで県下の文芸部員が集まる交流会に参加しました。7月

謝しながら、自分たちの目標実現に向けてチーム一丸となって頑張ります。

剣道部

今年の1年生は男子3名、女子2名が入部。3年生の男子2名と共に毎日練習に励んでいます。男子は新入生が入部したことで、5月の県総体で団体戦に出場することができました。団体戦に出場できたことは部員同士の絆を深める上で貴重な体験を行うことができました。今後も男・女共に楽しく練習に励んでいきたいと思っています。

ソフトテニス部

男女一緒に、平日の放課後は1面で、休日、夏休みなどは3面で半日練習をしています。3年生が引退し、男子は1年生6名、2年生2名、女子は1年生0名、2年生8名の合計16名で活動しています。団体戦で男女ともに16本シードへの復帰を目指し頑張っています。個人戦は、女子はベスト32に1ペアが入りました。団体・個人ともに、もう一つ上を目指して頑張っています。今年の夏は、練習試合を多くこなすことで自分たちの技量を磨くよう計画しています。

野球部

現在部員は、1年生25名、2年生14名、3年生8名、計47名です。文武両道の精神に則り、勉強と部活動の両立を基本とし、限られた時間の中で質の高い練習を心がけています。夏の大会では、それぞれが最高のプレーを心がけ頂点を狙いたいと思います。『一球入魂、全力プレーを誓います。野球部一同』

ご注意ください！

同窓会名鑑を作成するという名目で、調査ハガキが多くの同窓会員に郵送されており、往復ハガキ等で高額な名簿の購入を勧める等の手口です。これらは南高校同窓会とは一切関係はありません。正規の同窓会名簿は13年度に発行済みです。

進路状況

本年度の卒業生数は、8クラス(内、数理コース2クラス)の合計318名でした。進学者数は291名(内男子116名)で、全体の91.5%が進学しました。残りのうち、7.9%は浪人生です。

数理コースは卒業生の45.1%が国立大学に、40.0%が私立大学に進学しています。学年全体の29.8%が国立大学の進学者で占められています。

国立大学の延べ受験者数は367名、合格者数は111名、入学者数は95名で、合格率は30.2%(入学率は85.6%)でした。国立4年制大学の現役生と過年度生合計の合格者数は123名でした。現役生の主要な国立大学合格校

は、難関大では京大(1)、大阪大(2)、名古屋大(4)、神戸大(2)、広島大(2)です。ついで、東京農工大(1)、横浜国立大(1)、金沢大(2)、名古屋工業大(6)、三重大(22)、信州大(7)、静岡大(5)となっています。公立大学合格校は、横浜市立大(2)、都留文科大(3)、名古屋市立大(6)、愛知県立大(1)、京都府立大(2)となっています。学部別の特徴では、工学部系統の合格者比率が37.8%(昨年32.9%)を占めており、例年のことながら本校の大きな特徴となっています。次いで、経済・商学部系統の14.4%(昨年9.3%)、文学部系統の13.5%(昨年9.3%)と続きます。文学部系統

は、語学・国際関係分野が人気であり、全国的な傾向と同様に本校でも志願者が増えています。経済・商学部系統は全国的な傾向とは逆に、やや人気を回復しました。また、全国的に資格系学部志願者が集まる傾向があり、本校でも看護学部系統の人気は高く、合格者比率は6.3%(昨年1.4%)と大きく志願者を増やしました。一方、昨年に比べ志願者を減らしたのは、法律・政治学部系統と教育学部系統で、法律・政治学部系統は3.6%(昨年9.3%)、教育学部系統は6.3%(昨年19.3%)となり、大きく志願者を減らしました。

国立大学では工学部が多く開講されていることと、同系統はもちろん文系系統においても国立大が私立大よりも教育、就職環境に優れるため、多くの生徒が全国的な視野を持って国立大の受験校選択をおこなっています。

今年度はセンター試験の難化を受け、全国的に安全志向が働いた出願となり、本校においても前期日程から幅広く志望校を考え、中・後期日程においても2次学力を考慮しながらの慎重な出願を行いました。小論文指導や面接指導など十分な2次対策を行い、最後まであきらめず後期まで粘り強く受験しに行くことで合格を得られた生徒が目立った入試でした。

私立4年制大学の延べ受験校数は1,712校、重複を除く受験者数は291名でした。平均併願数は5.88(昨年5.39)と、一人あたりの受験校数が増えました。受験者動向については、昨年に大幅に受験者数を増やした一般入試前期日程の受験者数(延べ843人)が、今年も(延べ864人)と2年連続で上昇しました。年々受験者数が増加しているセンター利用前期では、昨年の(延べ635人)から(延べ684人)へとこちらも増加しています。しかし、センター試験の難化から合格率は昨年の66.3%から47.8%と大きくダウンし、これはセンター試験開始以来最も難しかった2010年度入試の合格率(46.8%)につぐ厳しさでした。

定した人気でした。さらに、工学部を新設した中京大が56人とこれに続きます。中部大の受験者が大幅に増加(9人↓38人)した一方、昨年受験者を増やした愛知工業大の受験者が減少しました(52人↓38人)。通学に時間のかかる立地条件も影響していると思われるです。

学部別の合格状況は、工学部系統が28.3%と群を抜いて多く、国立大と同じ傾向です。ついで、文学部系統(16.1%)、経済・商学部系統(15.3%)となっており、こちらも国立大の受験傾向と大きく変わりはありません。昨年は、国立大と私立大で受験傾向が大きく変わりましたが、今年はおおむね同様の傾向を示しました。工学部系統が多いのは理系人気を反映したもので、今年の工学部系統の本校の動向は、名城大が156人(昨年152人)と最も多く、安

大学別の受験者数をみると、中部圏では名城大222人(昨年256人)、中京大208人(昨年251人)の受験者数が多く、昨年より受験者数を減らしたものの根強い人気を持っています。次いで、南山大107人(昨年102人)、中部大76人(昨年45人)、愛知大73人(昨年84人)と続きます。昨年、名古屋駅近くにキャンパスが移転した愛知大はわずかに受験者を減らしたものの落ち着いた人気をしめています。関西圏では立命館大129人(昨年72人)、関西大45人(昨年25人)、同志社大34人(昨年20人)が受験者数上位校です。

近年は、鈴鹿・亀山地区からも多くの入学生を迎えています。地域や保護者の方の期待に応えられる進学校として、今後も大いに飛躍したいと考えております。先輩諸氏のご指導、ご鞭撻をお願いいたします。

(進路指導部 稲垣良二)



2013年度入試 大学等合格者数(浪人含む)

大学名	合格	大学名	合格	大学名	合格	大学名	合格	大学名	合格	大学名	合格
北海道	1	愛媛	2	北里	1	岐阜聖徳学園	2	藤田保健衛生	13	宮崎国際	1
山形	1	長崎	1	慶應義塾	3	中京学院	1	南山	35	私立大学計	788
茨城	1	琉球	1	國學院	1	岐阜医療科学	1	日本福祉	3	岐阜市立女子短	1
宇都宮	1	国立大学計	91	駒澤	2	静岡理工科	1	名城	86	三重短	20
埼玉	1	高崎経済	1	芝浦工業	1	常葉	3	東海学園	6	愛知学泉短大	1
東京農工	2	横浜市立	2	昭和女子	1	修文	2	名古屋文理	1	名古屋短大	1
横浜国立	1	石川県立	2	女子栄養	1	名古屋学芸	17	愛知東邦	2	名古屋文理大短	1
富山	8	都留文科	3	成蹊	1	愛知	24	皇學館	23	名古屋女子大短	1
金沢	2	静岡県立	1	創価	2	愛知学院	22	鈴鹿医療科学	15	南山大短	2
福井	1	愛知県立	1	中央	3	愛知医科	3	四日市看護医療	6	短期大学計	27
山梨	2	名古屋市立	6	東海	14	愛知工業	16	長浜バイオ	5	社会保険中京看護	1
信州	7	三重県立看護	2	東京造形	1	愛知淑徳	29	京都外国語	1	国立三重中央看護	5
静岡	7	滋賀県立	3	東京電機	2	愛知学泉	2	京都産業	4	ユマニテク医療福祉	1
愛知教育	2	京都府立	2	東京農業	1	金城学院	18	京都女子	2	三重県厚生連看護	1
名古屋	5	兵庫県立	4	東京理科	7	相山女学園	26	京都造形芸術	2	松阪看護	1
名古屋工業	6	奈良県立	1	日本	8	大同	14	京都光華女子	2	聖十字看護	1
三重	23	岡山県立	1	法政	3	中京	105	同志社	10	HAL名古屋	1
滋賀	3	広島市立	1	東京都	2	至学館	3	立命館	57	東京IT会計	1
京都	2	高知工科	1	明治	3	中部	56	龍谷	10	駿台観光&外語	1
大阪	4	北九州市立	1	立教	3	豊田工業	3	関西	18	名古屋外語ホテルブライダル	1
神戸	2	公立大学計	32	早稲田	1	名古屋外国語	12	関西外国語	2	名古屋美容	1
鳥取	1	明海	2	東京工芸	2	名古屋学院	4	近畿	17	経産コミュニケーションアート	1
鳥根	1	千葉工業	2	麻布	2	名古屋経済	1	関西学院	5	専門学校計	16
広島	2	東京情報	1	神奈川	7	名古屋商科	3	甲南	1		
山口	1	青山学院	1	福井工業	1	名古屋女子	10	神戸学院	4		

先生お元気でですか？

長年本校に勤務され、退職または転勤された先生方にアンケート形式の質問に答えていただきました。

【アンケート項目】

- ①南高を転職されてから何年になりますか。
- ②現在のお勤め先(お仕事)と併せて近況をお聞かせください。
- ③趣味あるいは余暇の活用などの様子をお聞かせください。
- ④南高時代の最も印象に残っていることはどんなことですか。
- ⑤南高及び南高生、同窓生にご助言、メッセージをお願いします。

松井秀行 先生

①南高勤務は1998年度から2008年度までの11か年でした。転勤してから4年が過ぎました。南高勤務の最終年度に50周年式典が開催されました。

②現在、石薬師高校に勤めています。今春の人事異動で、南高教員OBの原充臣(保体)、遠藤憲(国語)、榎本義之(理科)、望木智代(国語)各先生が勤務校に転入されました。今年度は進路指導主事を務めています。進路協議会では藤原歩(国語)、奥田進也(数学)、小川裕之(社会)、的場照祥(情報)各先生とお会いする機会を頂いています。昨春の南高47期生の学年同窓会では130余名の方々と再会できました。また、フェイスブックでは南高OBの方々約400名と「友達」としてつながっています。

③昨年から各種検定試験にチャレンジしています。津ふるさと学検定、京都観光文化検定、信長戦国歴史検定などに合格しました。次は進路アドバイザー検定、伊賀忍者検定などにチャレンジしたいと思っています。

④南高勤務11か年のうち1〜3年生を3サイクル(40・44・47期生)受け持たせて頂きました(うち1サイクルは学年主任)。他の2か年はいずれも進路指導部でした。「最も印象に残っていること」は特にありませんが、担当することが多かった修学旅行(北海道、沖縄)や、体育祭や文化祭に熱心に取り組む生徒諸君を心の底から応援していま

た。こうした行事に熱く取り組むことがそれぞれの進路志望実現につながる、という持論を密かに懐いていました。「棒取りで負けたら、こちらは女やない」と言った生徒の声が今も心に刻まれています。

⑤やはり、南高生であること・同窓生であることを誇りに今後の人生を切り拓いて下さい。私事ですが、昨夏に出身高校(津西高)の学年同窓会を高校卒業30年にして初めて開催しました。これを機につくった約80名からなるフェイスブックの同期グループページでは毎日のように交流しています。当然オフ会なども開催されています。皆さんも出身高校である「南高」の絆を大切にしてほしいと思います。南高百周年の時は、杖をついて南高の坂を登りたいものです。



平成25年度 総会及び懇親会



【日時】平成25年8月10日(土)

【会場】四日市都ホテル 3F 朝明の間

■午後2時より理事会

■午後3時より総会・懇親会

■会費 社会人2,000円、学生無料

■「近鉄内部・八王子線廃止」に関する中間報告も行われます。また懇親会には、樋口精一先生、杉本久直先生、浦田治先生をはじめ、懐かしい先生方をゲストにお迎えする予定です。ぜひ、総会に足をお運びください。

※役員会では、55周年記念事業として同窓会名簿作成を検討中です。

第5回 四日市南高校東京同窓会

【日時】平成25年10月12日(土)

【会場】東京八重洲富士屋ホテル

■16時30分受付

■17時～20時

■会費6,000円(学割3,000円)

【お申込み方法】

四日市南高校同窓会HPより、第5回四日市南高校東京同窓会の参加申し込みフォーマットよりお申し込み下さい。

【問い合わせ先】

四日市南高校同窓会理事14期生 山路みのるまでお願いします。

TEL.090-3255-2644

同窓会役員

会 長	粕谷邦男	(2期)
副 会 長	田中 正	(2期)
	山路 熟	(14期)
	鈴木正司	(17期)
書 記	大日方敏之	(15期)
	水谷正美	(23期)
	今村健治	(5期)
会 計	小柳秀樹	(20期)
	石原正敬	(29期)
	小寺了俊	(9期)
会計監査	浦田 治	(19期)

【学校側】

顧問	田中真司	学校長
会計	佐藤三重	事務次長
理事	稲垣良二	教諭
	西 綾	〃
	廣田育男	〃
	藤波 厚	〃
	村野玉紀	〃

【連絡先】

〒510-8562 四日市市大字日永字岡山4917
三重県立四日市南高等学校同窓会事務局
TEL.059-345-3177・3178 FAX.059-345-9549
http://www.4nan.jp/dousou/ E-mail ds@4nan.jp

創立55周年記念四日市南高校同窓会ゴルフコンペのご案内

四日市南高校同窓会では、創立55周年記念ゴルフコンペを開催します。

【日時】平成25年11月12日火曜日

【場所】三重カントリークラブ 三重郡菟野町千草7190番地
詳細は同窓会HPに掲載します。

【お申込み方法】

四日市南高校同窓会HPより創立55周年記念ゴルフコンペの申し込みフォーマットよりお申し込み下さい。

【お問い合わせ先】

四日市南高校同窓会理事14期生 山路みのるまでお願いします。
TEL.090-3255-2644 FAX.059-355-0571



技術員	須崎昌人	環境生活部交通安全・消費生活課 鳥羽高校
事務員	位田敏二	
養護	吉川あづさ	
家庭	立木直子	白子高校
英語	金田稔秋	神戸高校
英語	山岡雅夫	桑名西高校
英語	小林祐樹	津東高校
音楽	東原理恵子	新採用
音楽	杉本久直	いなべ総合学園
数学	藤波 厚	桑名北高校
数学	今枝恭子	宇治山田高校
数学	權部洋平	桑名北高校
国語	森岡由美子	新採用
国語	伊藤隆之	教育委員会研修指導課
国語	渡辺 歩	四日市農芸高校
家庭	西川信雄	桑名西高校
家庭	市谷万里	四日市工業高校
家庭	城 利英	津西高校
音楽	稲澤真人	桑名西高校
音楽	穂積砂江	名張高校
音楽	望本義之	いなべ総合学園
国語	石原正敬	石薬師高校
国語	高橋紀夫	
英語	佐野 稔	
英語	丹羽伸一	
英語	羽野雅彦	
理科	山下清史	
理科	平林祐美	

教職員異動

平成二十五年度(敬称略)